

検査ニュース

No.164①

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「新規検査項目」及びそれに伴う「検査受託中止」と「検査内容変更」について、ご案内します。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● 新規検査項目

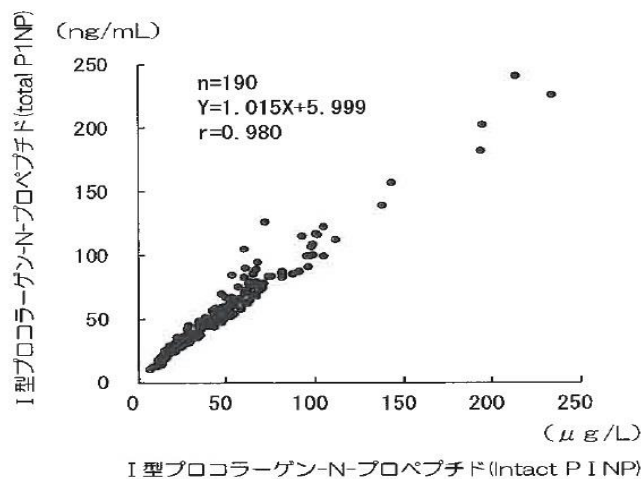
◆ I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド (total P1NP) (※検査を実施しております。)

P1NP は I 型プロコラーゲン-N-プロペプチドの略称であり、I 型コラーゲンの生成過程で、骨芽細胞から血中に放出される分子量約 35,000 の蛋白質です。骨芽細胞分化の初期から産生されるため、BAP 等の骨形成マーカーよりも早期の骨形成を鋭敏に反映します。P1NP は、骨粗鬆症治療、特に骨形成促進剤である PTH 製剤(テリパラチド)による治療効果の判定やモニタリング、診断補助に有用と考えられています。本検査は、P1NP の三量体および単量体を検出しますが、単量体はごくわずかであると推察されているため、三量体のみを検出する従来の Intact P1NP との相関は良好です。

検査項目	検体量 (ml)	容器	実施料 判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)	備考
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド (total P1NP)	血清 0.4	スピッツ	170 ※4	2~4	ECLIA	男性(30~83歳) 18.1~74.1 閉経前女性(30~44歳) 16.8~70.1 閉経後女性(45~79歳) 26.4~98.2 (ng/mL)	溶血でのご依頼は避けてください(溶血の場合、データが低値傾向となります。)

※4 生化学的検査(Ⅱ)判断料

total P1NP と Intact P1NP (2402) の比較



● 検査受託中止項目 (平成 27 年 9 月 29 日 (火) ご依頼分をもちまして受託中止いたします)

案内書 掲載項	項目コード	検査項目	備考
50	2402	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド (Intact P1NP)	新規項目 (total P1NP) 受託開始に伴う受託中止

検査ニュース

No.164②

● 検査内容変更

◆抗利尿ホルモン（平成 27 年 8 月 17 日より変更しております）

抗利尿ホルモン（antidiuretic hormone : ADH）はアルギニンバソプレシン（Arginine vasopressin : AVP）ともいわれ、視床下部で合成され下垂体後葉に蓄えられる下垂体後葉ホルモンです。

現法では、中枢性尿崩症の治療薬デスマプレシン投与中の患者検体では高値になることが報告されておりましたが、本試薬ではデスマプレシンとの交差性が低い抗体を使用することにより、特異性が高まることが期待されています。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	新	現
未搭載	2581	抗利尿ホルモン	検査方法	RIA2 抗体法	RIA2 抗体法
			基準値 (単位)	水制限4.0以下 自由飲水2.8以下 (pg/mL)	3.8以下 (pg/mL)
			検体量	EDTA-2Na 1.5mL	EDTA-2Na 2.2mL
			所要日数	5～7日	6～8日
			実施料 判断料	235 ※4	235 ※4

※4 生化学的検査（Ⅱ）判断料

◆TPA（組織ポリペプチド抗原）（平成 27 年 8 月 24 日より変更しております）

現測定試薬販売中止により、測定試薬を変更いたしましたので、検査方法、基準範囲、報告範囲、検体量も変更になりました。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	新	現
56	2307	TPA (組織ポリペプチド抗原)	検査方法	CLIA	RIA 固相法
			基準値 (単位)	75 未満 (U/L)	70 以下 (U/L)
			報告範囲	3未満、3～4000、4001以上	10以下、10～2000、2000以上
			検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
			所要日数	4～6日	2～4日

現法と新法の比較

